

## 認定こども園の視察に行ってきました。

近隣の認定こども園を、職員が順番に視察をし、道明寺こども園が、どの子にとっても安心できる、ワクワク楽しい認定こども園としてスタートできるよう話し合いを進めています。

視察先の認定こども園では、園長先生の「子どもが自分で興味をもったものに夢中になって遊べる保育をめざしています。子どもが、自分のしたいことを自由に選んで考えたり、試したりしながら、経験を広げていけるように、環境をつくり、保育者は子どもの思いに寄り添い、意欲を引き出す姿勢を大切にしています。」という言葉が印象的でした。道明寺こども園の保育を形作っていく、大きなヒントになりそうです。

職員は、子どもが夢中になって遊べるよう、学年チームで連携して援助します。「子どもがしたいことを、自由にできるように！」保育者は子ども達の応援者です。

廊下の突き当り、エレベーターの前など、いろいろな空間に、子どもが遊べる工夫がされています。

子どもたちが、のびのびと「したいこと」を選んで遊びやすいよう、おもちゃや材料の整え方、環境作りへの工夫が見られました。

3～5歳児には午睡専用のお部屋がありました。寝ない子は、保育室で過ごします。



子どもたちが作っている  
忍者の修行場  
子どもたちが楽しそうに修行に励んでいました。



### 【今、道明寺こども園では・・・】

園庭で、幼保の子どもたちが入り混じって遊ぶ機会を大事にしています。砂場、運動棒、フラフープ。色水はパンジーの花びらを拾ってきて作りました。体操棒の上を歩いて渡りたい3歳児さんを、両側から支える5歳児さん。みんなが思い思いに好きなことに挑戦しながら、友達との関わりを広げています。幼稚園のお友達、保育所のお友達、お互いに得意なことが違っていたりして、関わり合うと良い意味で刺激があり、楽しくて、なかなかいい感じです。



ここに水入れよう！



ジュースができたよ



大丈夫。  
手、もってるよ